



さいじょう

市議会だより

第94号

特集

教えて!!みずぎ議員
議案の修正ってなに?
政策提言会を開催しました

P11
P12

令和8(2026)年11月1日発行

花でつながる 学びと笑顔

～西条市青年農業者協議会による
禎瑞小学校での花育活動～

西条市青年農業者協議会

令和8年度補正予算（総額3億3,946万1千円）を可決

9月
定例会

令和8年第5回9月定例会は、9月1日から9月25日まで開催され、議案17件及び報告8件を審議し、最終日には、議案などの採決を行いました。

また、議員17人が議案質疑と一般質問を行いました。3ページに発言通告の一覧を掲載し、4ページから9ページに発言の要旨を会派別に掲載しています。



9月定例会における議案などの審議結果

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果
議案第81号	令和8年度西条市一般会計補正予算（第4回）について	原案可決	議案第96号	西条市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第82号	令和8年度西条市介護保険特別会計補正予算（第2回）について		議案第97号	人権擁護委員候補者の推薦について	異議なし
議案第83号	令和7年度西条市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	報告第13号	令和7年度西条市財政健全化判断比率及び公営企業における資金不足比率の報告について	報告聴取
議案第84号	令和7年度西条市水道事業会計決算の認定について		報告第14号	令和7年度西条市公営企業における資金不足比率の報告について	
議案第85号	令和7年度西条市病院事業会計決算の認定について		報告第15号	令和7年度西条市公営企業における資金不足比率の報告について	
議案第86号	令和7年度西条市公共下水道事業会計決算の認定について		報告第16号	令和7年度西条市公営企業における資金不足比率の報告について	
議案第87号	工事請負契約の締結について	原案可決	報告第17号	調停の申立ての専決処分について	
議案第88号	愛媛地方税滞納整理機構の共同処理する事務の変更及び規約の変更について		報告第18号	交通事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定の専決処分について	
議案第89号	愛媛県後期高齢者医療広域連合規約の変更について		報告第19号	市道茂敷新町線の道路の段差による物損事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定の専決処分について	
議案第90号	土地改良事業の施行について		報告第20号	交通事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定の専決処分について	
議案第91号	土地改良事業の施行について			決算審査特別委員会の設置について	原案可決
議案第92号	西条市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について	修正可決	請願第14号	精神障害者精神保健福祉手帳1級・2級保持者の、全診療科、入院・通院を含む医療費無料化の実現を求める請願	採 択
議案第93号	西条市一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の一部を改正する条例について		請願第15号	消費税率を一律5パーセント、インボイス制度は廃止することを政府に求める請願	不 採 択
議案第94号	西条市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	請願第17号	新型コロナワクチン接種後の健康状態の追跡調査の開示及びmRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業の中止を求める意見書提出についての請願	
議案第95号	西条市景観条例の一部を改正する条例について			議員の派遣の承認について	承 認

議員別 議案等賛否一覧表

上表には議案などの審議結果を、下表には賛否が分かれた議案など（上表の網掛け部分）の状況を掲載しています。（現議員数28名）

議員名 議案等 (賛成:反対)	1 三浦 颯	2 高木 新治	3 渡部 勤文	4 玉置 公正	5 八木 邦靖	6 黒川 理恵子	7 柳原 政彦	8 伊藤 良二	9 日野 克則	10 越智 由美子	11 高橋 淑子	12 森川 亜紀	13 佐々木 充	14 三好 和彦	15 高橋 保	16 藤井 武彦	17 川又 由美恵	18 井上 浩二	19 真鍋 顕伸	20 高橋 章哲	21 城戸 力	22 佐伯 利彦	23 西坂 壽	24 行元 博	25 越智 俊幸	26 一色 輝雄	27 武田 功	28 伊藤 孝司
議案第88号	26:1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第15号	3:24	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	議長	×	×
請願第17号	3:24	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※ ○: 議案などに対して賛成 ×: 議案などに対して反対 ※ 一色輝雄議員は、議長職のため表決に加わっていません。

9月定例会 発言通告一覧

一般質問

越智 由美子 議員

- 1 フリースクールへの通所に対する補助制度の導入について
- 2 小・中学校の給食無償化について
- 3 非核三原則の堅持と平和行政の推進について
- 4 職員駐車場にかかる自己負担の解消について

黒川 理恵子 議員

- 1 データセンターの誘致について
- 2 庁内におけるAIの活用について
- 3 10歳未満の子どものSNS規制について

藤井 武彦 議員

- 1 地域計画（地域農業経営基盤強化促進計画）について

八木 邦靖 議員

- 1 行政運営におけるガバナンス、説明責任及び市民との信頼構築について

高橋 章哲 議員

- 1 スクミリングガイ（ジャンボタニシ）の被害防止対策について
- 2 市職員の離職対策について

森川 亜紀 議員

- 1 教員の休憩時間確保による労働環境の改善について
- 2 不登校児童・生徒への総合的な支援について

柳原 政彦 議員

- 1 新たな防災気象情報の運用を踏まえた取組について
- 2 人口減少時代における高齢者及び女性の就業支援について

各議員の議案質疑・一般質問のうち太字の項目については、4ページから9ページに質疑・質問及び答弁の概要を掲載しています。

伊藤 良二 議員

- 1 国の日本成長戦略等を踏まえた重点産業振興について
- 2 令和8年熊本地震を教訓とする対応について

井上 浩二 議員

- 1 感震ブレーカーについて

三浦 颯 議員

- 1 ゼロカーボンシティの実現について

真鍋 顕伸 議員

- 1 愛媛県県立学校振興計画について

日野 克則 議員

- 1 中学校部活動の地域展開について

高木 新治 議員

- 1 教職員の負担軽減について

玉置 公正 議員

- 1 西条市公共施設等総合管理計画について

渡部 勤文 議員

- 1 生活困窮世帯に対する葬祭扶助制度について
- 2 おくやみ窓口について

高橋 淑子 議員

- 1 災害時における障害のあるかたへの支援について
- 2 女性及び母子専用避難所について
- 3 市内医療機関におけるオンライン・訪問診療の推進について

城戸 力 議員

- 1 石鎚クライミングパークSAIJOの施設改修について
- 2 ネーミングライツの導入について

議案質疑

森川 亜紀 議員

- 1 議案第81号 令和8年度西条市一般会計補正予算（第4回）について
(1) 空家等対策事業について

伊藤 良二 議員

- 1 議案第83号 令和7年度西条市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について
(1) 公民館管理運営費について
(2) 賦課徴収費について
(3) 歳計現金以外の現金の適正管理について

高木 新治 議員

- 1 議案第81号 令和8年度西条市一般会計補正予算（第4回）について
(1) 地域産業活性化推進事業について

高橋 淑子 議員

- 1 議案第81号 令和8年度西条市一般会計補正予算（第4回）について
(1) 小学校トイレ洋式化改修事業について
中学校トイレ洋式化改修事業について

城戸 力 議員

- 1 議案第81号 令和8年度西条市一般会計補正予算（第4回）について
(1) 災害対応備品等整備事業について

★議案書PDF★



議案書



議案書 (その2)

★提案説明動画★



議案第81号・82号



議案第83号～86号
報告第13号～16号



議案第87号～96号
報告第17号～20号



議案第97号



井上 浩二
議員
西条自民クラブ



感震ブレイカーの普及に向け

新たな周知方法の検討を！

問

感震ブレイカーは、比較的安価で設置でき、地震の際の通電火災を防ぐために有効な防災機器であるが、認知度不足・情報不足が課題である。更なる普及推進に向け、高齢化率・災害リスクの高い地域にどのように周知していくのか。

答

通電火災の危険性に対する認知度向上が必要であると考えており、（仮称）感震ブレイカー設置推進計画を新たに策定し、木造住宅密集地域や津波浸水想定区域などの出火・延焼危険の高い地域を重点エリアとして啓発していきたい。更に、広報やイベントでの周知に加え、希望する自治会には、対面での説明なども検討するとともに、高齢者などがよく利用する街の電気屋と連携し、感震ブレイカーの設置や補助金に対する声掛けを行うなどの新たな周知方法も検討していきたい。また、感震ブレイカーのデモンストレーションによる周知を行っている先進地域の調査・研究を行いながら、引き続き、普及推進に取り組んでいきたい。



藤井 武彦
議員
西条自民クラブ



地域計画（地域農業経営基盤強化促進計画）

の継続的な見直しと伴走型支援を！

問

地域計画は策定して終わりではなく、担い手の離農や新規就農、法人参入など、地域農業の変化に応じて継続的に見直すことが重要と考えるが、現在、計画や目標地図をどの程度の頻度で更新しているのか。

また、実効性を高めるため、市、農業委員会、JA、県、土地改良区などが一体となった伴走型支援を強化すべきと考えるが、今後、どのように取り組んでいくのか。

答

本市では、令和7年3月に市内23地区で地域計画を策定したが、目標地図は現況に近く、将来の担い手への集約が明確とは言いがたい。また、昨年度の更新も、担い手の変更や農用地区域の除外に伴うものなど、事務的な変更にとどまっている。

今後は、新規就農者や認定農業者、集落営農などの担い手を確保するとともに、地域で真剣な議論を進める必要があり、県、農業委員会、JA、土地改良区などと連携し、現場に入り込んだ伴走型支援の体制を早急に構築し、地域計画の実効性を高めていきたい。



森川 亜紀
議員
西条自民クラブ



不登校児童・生徒への

給食費相当額の支援の考えは？

問

学校給食を利用している児童・生徒には公費による食の支援が届く一方、不登校などにより給食を利用できない児童・生徒については、家庭が昼食を用意し、その費用を負担している。そのような家庭に対し、国の交付金を積極的に活用し、学校給食費相当額を給付する考えはあるのか。

答

不登校の児童・生徒に対し、さまざまな登校支援に取り組んでおり、それぞれの児童・生徒の状況に応じた登校を促している。その中で、給食時間だけ登校し、給食を食べて帰る児童・生徒もいる。また、不定期に登校する児童・生徒も多数いることから、いつ登校しても給食が提供できる体制を整えておくことも必要である。

今後、不登校などを理由とした補助も検討課題であると認識しているが、児童・生徒の登校を支援する取組を阻害しないような制度設計が必要であり、既に不登校児童などを対象とした補助を実施している他団体の事例なども調査・研究していきたい。

大規模地震災害に備え

生活用水の確保策を！



伊藤 良二
議員
西条自民クラブ



問

今夏発生した熊本地震では、停電などによる地下水くみ上げ不能が市民生活に著しい影響を及ぼした。本市でも約52・2パーセントの市民が地下水に依存しており、同様の窮地が懸念される。非常時に使用可能な手押しポンプの実態把握や、民間井戸の災害時活用に向けた協定締結の考えはないか。

答

停電時の応急的な生活用水の確保策として、手押しポンプが有効であることは認識している。市が設置・管理する防災井戸は49基あるが、いざというときのため、一般家庭や民間企業が保有する井戸・手押しポンプの設置状況について、被災地の事例を踏まえ、効率的かつ網羅的な情報収集と調査方法の検討を進めたい。

民間井戸の活用に関する所有者との協定については、衛生管理面や権利上の課題もあるため、他自治体の事例も参考に検討したい。今後とも熊本地震の教訓を踏まえ、地下水を含めた生活用水の確保や上下水道の耐震化など、水関連インフラの強靱化に努めたい。

市内に存在する眠れる人材の活用を！



柳原 政彦
議員
西条自民クラブ



問

本市の高齢化率は約33パーセントに達するが、有効求人倍率は1・33倍と人手不足が深刻化している。一方で、出産・育児などで一時的に職場を離れた女性や定年退職した高齢者など、活用されていない人材が存在する。こうした眠れる人材を活用するため、どのような支援策を検討しているのか。

答

眠れる人材の活用は、企業の人材確保のみならず、地域活力の向上にも資する取組である。現在、株式会社西条産業情報支援センターのまちの人事部において、働きやすい職場環境づくりや採用力向上を支援するとともに、産業雇用安定センターなどのネットワークを活用し、女性や高齢者を含む多様な人材のマッチング支援に取り組んでいる。また、地域産業などの人事担当者ネットワーク、西条人事部水の会の活動などを通じ、シフトや業務の細分化、キャリアアップ対策、職場見学などの可能性把握に努めるとともに、先進事例も参考にしながら、本市の特性を踏まえた支援策の検討を進めたい。

西条市の未来を担う

高校をどう守り育てる？



真鍋 顕伸
議員
夢みらいクラブ



問

県立高校の再編は、本市の教育だけでなく産業や農業、人口減少対策にも関わる重要な課題である。市内高校の生徒や保護者、地域、産業界などの意見を集め、本市が必要とする高校の将来像を県へ具体的に提案する考えはないのか。

答

高校は本市の将来を担う若者を育み、卒業後は農業、ものづくり、建設、福祉、サービス業など地域の基幹産業を支える人材を育成するたいせつな場であり、現在、県が策定中の愛媛県県立学校振興計画後期計画の内容は最重要課題の一つと認識している。本市の高校には、農業DXや商品開発、情報科学、社会共創など他市の高校に引けを取らない特色ある取組と高いポテンシャルがある。今後は、市内高校の生徒などから多様な意見を広く集め、本当に必要とする高校の将来像や具体的な意見・要望を、地域協議会や県教育委員会に対して強く提案していきたい。また、高校生の自由な発想や挑戦を応援し、本市の新たな可能性につなげたい。



日野 克則
議員
夢みらいクラブ



中学校部活動の地域展開における

今後の取組は？

問

中学校部活動の地域展開の進捗状況はどのようになっているのか。また、今後の取組として、ニーズの把握に向けたアンケート調査の実施、スポーツ安全保険の加入における一括代行などのサポート、地域クラブ認定制度の導入、外部指導者向け研修会の実施、活動費などへの補助、施設使用のルール化について、どのように考えているのか。

答

これまでの西条市部活動地域展開検討委員会の開催に加え、今年度は庁内検討委員会を立ち上げて具体的な検討を進めている。今後は、アンケートなどでの生徒や保護者のニーズ把握に加え、スポーツ安全保険については、適切な保険加入を促し、加入及び事故時の手続きの周知を図りたい。また、地域クラブ認定制度の導入については、実情に合った制度設計に取り組み、外部指導者向け研修の実施や活動費などへの補助については、先進地の事例を参考に検討したい。施設使用のルール化についても、関係各課や学校現場と調整しながらしくみづくりを進めたい。



高木 新治
議員
夢みらいクラブ



学校現場の逼迫する状況を緩和し

教職員の負担を軽減する取組を！

問

教員をサポートし、必要に応じて子どもたちに寄り添うことができる支援員を配置すること、また、学校現場が抱える法的な課題に対し、専門家のアドバイスがより身近にかつ迅速に得られるよう、教育委員会独自のスクールロイヤー制度を導入することについて、どのように考えているのか。

答

現在実施している支援員の配置対応としては、スクールカウンセラーや全中学校に校内サポートルームを設置している。学校の内外で発生する問題行動に特化した支援員の配置は現在行っていないが、教員の業務負担の軽減を図り、教員が児童・生徒一人一人にじっくりと向き合える環境づくりについて、今後も検討を続けていきたい。

また、スクールロイヤー制度の導入については、複雑化・多様化する学校現場の法的課題や増加するカスタマーハラスメントに対応するため、今定例会に予算を提出している新規事業の活用を検討し、教職員が安心して力を発揮できる環境整備に努めたい。



三浦 颯
議員
夢みらいクラブ



グリーン購入の推進により

ゼロカーボンシティの実現を！

問

行政が製品やサービスを調達、購入する際に、価格や品質だけでなく、環境への負荷を考慮して優先的に選択するグリーン購入を進めることは、脱炭素社会の形成を後押しする大きな力となるが、グリーン購入の推進に向け、本市での調達基準やガイドラインを整備する考えはないのか。

答

本市ではグリーン購入法の趣旨を踏まえ、基準に適合したコピー用紙やトナーなどを調達しているが、全庁的な共通ルールとなるガイドラインは策定していない。

グリーン購入の推進は、脱炭素社会や循環型社会の構築につながるものと認識しており、第5期西条市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）において、ガイドライン策定を今後検討する項目として位置付けている。

持続可能な地域づくりの推進に向け、本市の実情に即したグリーン購入の在り方を、先進自治体のガイドライン策定状況や運用実態、現場職員の負担軽減なども含め、課題と効果について調査・研究を進めたい。

スポーツクライミングの聖地を目指し 施設の改修を！



城戸 力
議員

公明党西条市議団



問

石鎚クライミングパークS.A.I.J.Oは開設から年月が経ち、日常的なメンテナンスだけでは補えない課題も生じているが、今後の改修予定はどのようなになっているのか。

答

当施設のボルダリング競技場及びリード競技場は開設から11年が経過しており、特に、利用者全体の7割を占めるボルダリング競技場は、日常的に個人利用者も多いことから、利用者の安全確保を最優先に必要な設備の更新を行っている。今年度は経年劣化で傷みが激しい主競技場着地用マット及びアイソレーションルーム着地用マットの更新に着手したところである。また、スピード競技場を含む3競技場の競技壁のリニューアルについても、年間の利用者数や大会などの開催頻度、改修に要するコストを総合的に勘案し、経年劣化の状態なども踏まえながら、適時、判断していきたい。



ボルダリング競技場

市内医療機関でのオンライン診療の 推進に向けた支援を！



高橋 淑子
議員

公明党西条市議団



問

オンライン診療により、自宅で定期的な診療が受けられ、病院で長時間待つ体力的な負担がなくなり、医療機関側でも外来の混雑緩和につながるが、市内医療機関への導入推進に向けた支援をどのように考えているのか。また、西条市休日夜間急患センターへ導入する考えはないのか。

答

オンライン診療の導入やその支援に関し、市民ニーズの把握及び医療機関への情報共有を行うとともに、一般社団法人西条市医師会をはじめとした医療機関の意見も踏まえ、検討を進めていきたい。

また、西条市休日夜間急患センターへの導入については、医師不足や医師の高齢化などにより、当該センターに勤務する開業医が減少傾向にある中で、導入により応急診療に当たる医師を市外から確保することができると、市内医師の負担軽減や市民の利便性向上、感染症まんえん期などに導入効果は大きいと考える。このため、指定管理者である西条市医師会などと引き続き検討していきたい。

ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）の 農業被害に対する支援策を！



高橋 章哲
議員

会派に属さない
議員



問

ジャンボタニシによる農業被害が深刻化しているが、市は現状をどのように認識しているのか。また、今後は個別の対策ではなく、広範囲で統一的な駆除対策が必要と考えるが、市としての支援策をどのように考えているのか。

答

ジャンボタニシは市内全域の水田で確認されており、特に田植え後の軟らかい苗の被害が深刻化するなど、農業経営に影響を与える重大な課題となっている。ひとたび発生すると、単一の薬剤散布や個別の駆除だけでは根絶が極めて難しく、個別農家の対策では限界があり、今後は地域全体での継続的な取組が不可欠であると認識している。

本市としては、ホームページでの注意喚起に加え、県、JA、土地改良区などの関係機関との連携を密にし、効果的な防除方法に関する情報提供や対策講習会の開催などに努め、国・県などの補助事業活用の可能性についても検討するなど、生産者が安心して米作りに専念できる環境づくりを目指したい。



越智 由美子
議員
会派に属さない
議員



小・中学校の給食費無償化 今後の継続性は？

問

令和8年度は国の交付金を活用することで給食費の実質無償化を実現できたが、仮に、国の交付金が終了した場合であっても、本市独自で一般財源を確保し、小・中学校給食費の無償化を継続し、全額恒久化すべきと考えるが、市はどのように考えているのか。

答

給食費の負担については、学校給食法及び学校給食法施行令において、学校給食の実施に必要な施設及び設備に要する経費並びに学校給食の運営に要する経費は、学校の設置者である市が、食材費については保護者が負担することとされている。

しかしながら、継続する物価高騰に対応する子育て支援の重要性はじゅうぶんに認識しており、特に小学校給食費については、国の学校給食費負担軽減交付金を基にした実質無償化も視野に入れ、今後の物価高騰の推移や国の支援策の在り方などの動向をじゅうぶんに見極めながら、保護者の負担軽減に向けた検討を進めていきたい。



黒川 理恵子
議員
会派に属さない
議員



今こそデータセンターの誘致を！

問

データセンターの誘致は、新たな産業の創出、A・デジタル人材の育成、再生可能エネルギーの有効活用、地下水塩水化問題の解決といった本市が抱える複数の政策問題を一体的に解決する契機になると期待できるが、県や電力事業者などと連携し、誘致活動に取り組んでいく考えはあるのか。

答

データセンターが立地することで、一般的な製造業の工場と比べて固定資産税収の大幅な増加、新たに形成されるサプライチェーン全体での雇用創出が期待できる。一方で、莫大な電力の供給量確保や送電網整備のためのスケジュールの条件適否が挙げられるほか、周辺環境への影響を考慮する必要があるが、適地選定も大きな課題となっている。今後は、本年8月26日に設立されたえひめDC誘致推進コンソーシアムの連携体制をじゅうぶんに活用し、企業立地奨励金制度の運用や冷却に用いる水資源など、本市の強みを積極的にPRしながら、データセンターの誘致実現に向けて取り組んでいきたい。



八木 邦靖
議員
会派に属さない
議員



行政判断の検証と説明責任を どう果たすのか？

問

県立高校再編では、地域からの要望書などを市がどのように共有・検討し、市長・教育長の発言や県との協議に反映したのか。また、その意思形成過程を後から検証できる記録はあるのか。過去の行政判断について疑義が示された場合の再検証、公文書の作成・保存、説明責任を含め、行政ガバナンスを今後、どう強化していくのか。

答

県立高校再編については、会合や市民などからの意見・要望、生徒との意見交換などを通じて意見を把握し、庁内及び教育委員会でも共有するとともに、市長や教育長が県との協議の場で伝えている。要望書や会合の議事録などは所管課で保存し、県の地域協議会での発言も概要が公表されている。行政判断に誤りが発覚した場合は、影響などを踏まえ必要な対応を行うこととし、公文書は処理過程を明らかにするよう作成し、内容に応じて記録の必要性を判断している。説明責任は法令や判断内容の説明、意思決定に関する資料の公開により果たせると認識している。



玉置 公正
議員
会派に属さない
議員



公共施設の長寿命化に向けた

予防保全の考えは？

問

西条市公共施設等総合管理計画を進める上では、施設が老朽化してから大規模な改修や建て替えを行う事後保全ではなく、計画的な点検や修繕によって施設の長寿命化を図る予防保全の考えが極めて重要となる。そのため、今後、どのような方針で予算配分や計画を行っていくのか。

答

予防保全として、学校施設や市営住宅では、長寿命化計画に基づき計画的な改修を進めている。そのほかの施設についても、点検結果や劣化状況に応じて、必要な修繕や改修を行っている。また、西条市公共施設等総合管理計画では、定期的な点検や診断と予防的な対策により、施設の長寿命化と更新費用の平準化を図ることとしている。

今後も、施設の必要性や利用状況、将来需要を踏まえて施設の在り方を検討するとともに、劣化状況や緊急性・安全性に応じて修繕などの優先順位を定め、限られた財源を効果的に活用し、財政負担の軽減及び平準化に努めたい。



渡部 勤文
議員
会派に属さない
議員



遺族の負担軽減に向け

おくやみ窓口の更なる改善を！

問

本市のおくやみ窓口は事前電話予約であるが、手続きに係る準備のため、来庁は最短で約2開庁日後となる。手続きの遅れや不透明さが更なる不安につながりかねないことから、遺族の負担軽減に向け、どう取り組んでいくのか。

答

おくやみ窓口は、親族を亡くされた遺族の心情に配慮し、少しでも短時間で簡単に手続きを終えることを目的に、事前予約としているが、電話のみの受付であるため、利用者が開庁時間中にしか予約できないことが課題であると認識している。このため、平日だけでなく、土日も含めて24時間、いつでも予約できるよう、年内をめどにオンラインで受付できるように取り組んでいるところである。

今後、おくやみ窓口の運用の中で少しでも負担軽減につながるものがあれば、随時、改善していきたい。



本庁のおくやみ窓口

決算審査特別委員会 を設置しました

【委員長】三好 和彦
【副委員長】高橋 淑子
【委員】監査委員(高橋 保)

を除く全ての議員

9月定例会初日(9月1日)に、令和7年度各会計決算の審査を行う決算審査特別委員会を設置し、分科会ごとに、9月29日に現地調査を、9月30日及び10月1日に書面審査を行いました。また、11月13日に決算審査特別委員会を開催し、各分科会長から審査内容の報告などを行い、12月定例会初日に委員長報告、採決を行う予定です。



現地調査



書面審査

総務委員会・

分科会での主なQ&A

9/10 開催
付託議案 4件
請 願 1件

カスタマーハラスメント対策事業について

Q カスタマーハラスメント対応を委託する専門家の選定基準は？

A 委託事業者は、カスタマーハラスメント対応及びSNS対応に関する専門的な知識・経験を有すること、迅速かつ円滑に対応するため、本市の近隣に事務所を有していること、学校問題に関して他自治体での業務実績を有し、自治体の運営・組織に精通していることの三つの条件を満たした専門家の推薦を愛媛弁護士会に依頼し、選定したいと考えている。

Q カスタマーハラスメント事案が発生した際のサポート体制は？

A 職員個人に負担を負わせるのではなく、組織としてカスタマーハラスメントに適切に対応するとの認識の下、電話やウェブ会議による助言を基本とし、文書作成や現地対応など、事案に応じた適切なサポートのほか、24時間対応や休日を含む連絡体制を整備するとともに、報告・相談ルートをマニュアル化し、職員への周知徹底を図りたい。

福祉文教委員会・

分科会での主なQ&A

9/11 開催
付託議案 5件
請 願 2件

小・中学校トイレ洋式化改修事業について

Q 全ての小・中学校がトイレ洋式化の対象となっていない理由は？

A 国や関連学会の基準を参考に整備基準を定め、基準を満たさない小・中学校を優先して緊急的に整備するためである。事業対象外の学校についても、引き続き実状を検証しながら衛生環境改善に努めたい。



洋式化を進める学校トイレ

地域密着型サービス施設等整備事業について

Q 事業者が補助金を活用してICT機器などを整備した後のランニングコストや将来の維持リスクをどのように考えるのか？

A 事業者は、整備後のランニングコストに加え、システムの補修や機器の維持管理が必要となるため、経費負担が増大する懸念はあるものの、市としては、導入効果をしつかりと検証しながら適切に事業を進めたい。

産業建設委員会・

分科会での主なQ&A

9/10 開催
付託議案 4件

地域産業活性化推進事業について

Q スタートアップ都市推進協議会に入会する目的は？

A 同協議会に入会することで、西条産業情報支援センターなどの支援で創業した市内事業者と市外投資家や事業会社との出会いを創出し、民間投資や新たなアイデアを呼び込むことで産業の活性化につなげたい。

市単独道路改良事業について

Q 今回整備する箇所の選定理由及び未着手路線を令和9年度以降の道路網整備計画へ反映する考えは？

A 今年度下半期で工事完成が見込まれる生活道路などで、地域から要望があった未着手路線を選定している。また、新たな道路網整備計画に生活道路などは含まれないため、今後、市民や地域の要望を踏まえて優先順位を整理し、事業に取り組みたい。



市道小松小学校西線の現地調査

ごみ対策調査特別委員会

9月14日 開催
付託議案 1件

西条市一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の一部を改正する条例について

Q 今回の条例改正は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の一部を改正する法律の公布に伴うものであるが、9月定例会最終日（9月25日）に本議案が議決、公布された場合、同法施行日の9月16日から24日までは改正内容が適用されないが問題ないのか？

A 現在本市では、同法に追加された特別管理一般廃棄物である非常災害廃棄物の処理施設を設置する動きはなく、また、生活環境に及ぼす影響調査も実施しておらず、当該期間中に調査結果を縦覧しなければならぬ事態は想定していないため、問題は生じない。

Q 遡及適用する附則を明記しない理由は？

A 実務上問題が生じる場合は、遡及適用する附則を設けるべきであるが、今回の場合、問題は生じないため、遡及適用する附則は必要ないとの結論に至り、本条例改正案を提出した。

以上の審査経過を踏まえ、委員から、原案の附則に適用区分及び経過措置に関する内容を加える修正案が提出され、審査の結果、修正案及び修正部分を除く原案をそれぞれ全会一致で可決しました。

教えて！！みずき議員

議案の修正ってなに？

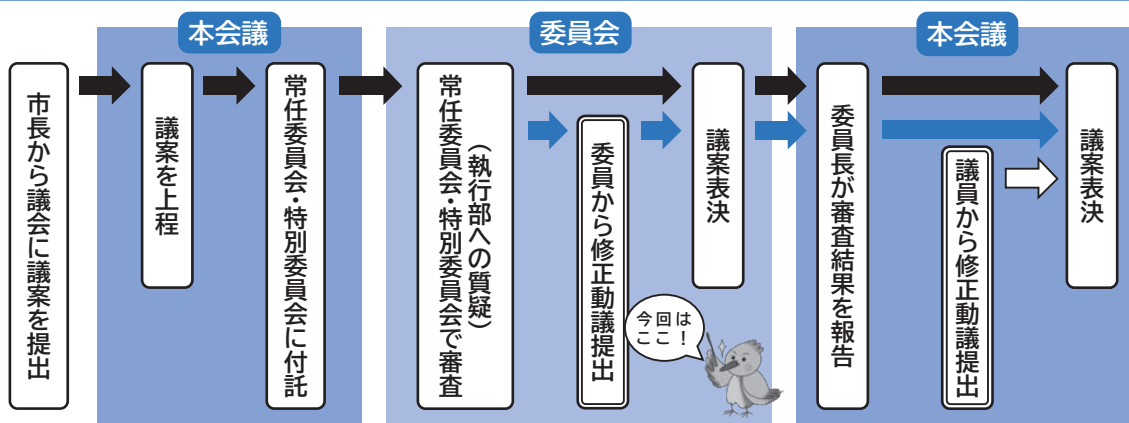
市長から議会に、議案（条例の制定・改廃、予算を定めることなど）の提出があった場合、本会議や委員会（常任委員会・特別委員会）で審査して議決するんよ。

議案の内容に対し、議員（委員）は必要に応じて議案を修正することができて、議案の修正を行う場合は、その議案の目的の範囲内において、修正案を添えた「修正動議」を提出することになるんよ。

議案の修正に係る審議の流れがどうなってるんか、見てみよう！



議案審議の流れ



委員会で修正可決した後の本会議（最終日）での経過

本会議最終日（9月25日）では、ごみ対策調査特別委員会委員長から、委員会修正案及び修正部分を除く原案（元の内容）を可決した旨の報告が行われました。※詳細は、上段の特別委員会レポートのとおり

その後、採決を行った結果、まず、委員会修正案を全会一致で可決し、次に可決された委員会修正部分を除く原案を全会一致で可決しました。



委員会修正案の採決の様子

人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員候補者に、玉井秀昌氏を推薦することに異議のないものとなりました。

常任委員会の行政視察を実施しました

各委員会において、所管している分野に関する知識を深め、更なる調査を進めるため、他の自治体などの先進的な取組について行政視察を行っています。

各委員会の視察報告書は▶



総務委員会

7月7日～9日



京都市中・北部地域消防指令センター
京都市中・北部地域消防指令センターについて
滋賀県守山市
窓口受付時間短縮による働き方改革について
三重県伊賀市
伊賀市インターネットを介した人権侵害のない社会づくり条例について

福祉文教委員会

7月8日～10日



山形県寒河江市
中学校部活動の地域展開について
福島県伊達市
健幸都市実現を目指した取組について
福島県白河市
地域における高齢者の居場所づくりについて

産業建設委員会

7月13日～15日



栃木県矢板市
林業成長産業化及び担い手の確保・育成に向けた取組について
福島県郡山市
デジタル新技術を活用した道路管理について
福島県会津若松市
新たな工業団地整備に向けた取組について

令和8年度政策提言会を開催しました

令和8年10月9日に政策提言会を開催しました。

この提言会は、会派及び会派に属さない議員が、市政の現状から浮かび上がる課題の解決に向け、政策などの立案を行うことで、議員の政策形成能力の向上と市政への反映を目的に、毎年開催しています。

会派等名	政策等の名称
西条自民クラブ	市道・生活道路の維持管理について
	西条市地域連携型ケミカルリサイクル推進事業について
	通学路のグリーンベルト（グリーンゾーン）の継続的な整備について
	椿交流館「椿温泉こまつ」の民間活用に向けた公募型再生事業の推進について
	市民サービス向上と働き方改革につながる業務改善について （業務棚卸し・朝礼終礼による目標管理・休憩時間シフト制の導入・開庁時間短縮による残業是正と業務効率化）
	中山間地にある公共トイレの整備について
夢みらいクラブ	中間事業者再編によるふるさと納税改革
	西条市氷見・橘・禎瑞小学校と西条西中学校統合による「次世代未来型モデル校」新設プロジェクト事業
公明党西条市議団	共働き家庭やひとり親家庭を待ち受ける「夏休みの壁」への対策
高橋 章哲	市内小中学校体育館へのGHP空調導入について
越智 由美子	原爆パネルの購入及び市の施設での「平和・原爆パネル移動展示会」の開催
黒川 理恵子	伊予西条駅前本通りから商店街にかけての再開発の推進について
八木 邦靖	民間資金を活用した公共施設維持管理・地域振興推進事業
玉置 公正	健康づくりと商店街活性化を両立する全天候型ウォーキング商店街構想
渡部 勤文	介護人材確保・定着推進事業について



全15項目にわたる提言を市長にしたけん！



編集後記

木々の葉が色づき始め、すっかり秋らしい季節となりました。

11月の第2日曜は「愛媛サイクリングの日」です。自転車活用を図り、誰でも気軽に自転車に触れ合う機会を提供することを目的に、11月は、各地でさまざまなイベントが開催されます。心地よい秋風の中、自転車を通じて地域の豊かな自然や新たな魅力を再発見する絶好の機会ですね。日中はまだまだ暖かいですが、朝晩は冷え込むようになってきました。体調管理にはじゅうぶんお気をつけください。

市議会だより編集委員会

委員長 川又 由美恵
副委員長 高橋 章哲
委員 高橋 彦哲
委員 三好 彦哲
委員 高藤 保彦
委員 真鍋 武伸
委員 城戸 力博
委員 行元 孝司
委員 伊藤 孝司